

# 会報

第33号 (2016/2/25)

広島県福山市木之庄町 4-3-14

Tel&Fax:084-917-5937

Mail:info@crcc-fukuyama.org



Community Renaissance  
Research Center

## 3月・4月の予定

**3月9日(水)10時〜14時**  
**味噌づくり**

・場所：NPO集会所  
・指導：藤原スエ子さん

・持ち物：エプロン、三角巾、お手拭き用タオル  
・参加費：500円(簡単な昼食付き)  
前号でご案内した日程から変更しました。



**3月23日(水)14時〜16時**

**「仁伍」合唱団「合唱練習**

・場所：NPO集会所  
・講師：村山ひろみさん



・参加費：500円  
5月の鯉まつりのステージで披露できることを目標に練習を始めます。歌謡曲・童謡など楽しみながら一緒に歌ってみませんか。  
また、お手伝いいただける方はご連絡をお願いします。



**3月16日(水)14時〜16時**  
**講座 傾聴の仕方について**

・場所：NPO集会所  
・講師：牧田幸文さん(市立大学講師)  
・参加費：500円

牧田さんはイギリスで傾聴の仕方を勉強。その後、福山市内の施設でその方法を使い、高齢者の「その人らしい暮らし」を明らかにし、どのような支援をしたら良いかという研究をされました。

超高齢化時代を迎え、私たちの身のまわりに高齢者が増えて、高齢者とふれあう時の話の聞き方、言葉かけなどのポイントを示唆していただけるのではないかと思います。

**4月6日(水)12時〜**

**お花見**

・場所：福山城  
・参加費：500円



満開の桜の下で、一緒にお花見を楽しみませんか。昨年は天候が悪く室内での開催となりましたが、集会所でお花見弁当を作つて楽しみました。今年は暖かい日になりますように。参加される方は4月1日までに「ご連絡ください。」

いずれもFAXまたはメールで申し込んでいただければ幸いです。

## ポーセラーツ講座



2月10日(水)14時から、初めての試みのポーセラーツを作る会を開催しました。参加者は当初もう少し多い予定でしたが、風邪で7名になりました。

ポーセラーツとは porcelain(陶器)と art(芸術)を組み合わせた言葉です。今回はふた付き小物入れ(直径10センチ・高さ5センチ)を作りました。

最初に講師の三宅祐美さんから絵の着いたポーセラーツ転写紙を貼り付けるコツを指導してもらいました。まず模様を切り取り、裏表がわからなくなるので、水につけてからそのまま陶器に持つて来て貼り付けること。二つ目は模様を貼り付けたら鉛筆のようなワイプアウトツールを使ってしっかり空気を抜くことが大事。このあと高温で焼き付けるので、空気が残っていると焦げたりすること。



模様を貼り付けていきます

転写紙は今回2種類準備してあり、それぞれサンプルが作ってありました。それぞれ自分の好みの転写紙と白い陶器を持って座り込んで作業を始めました。完成までに1時間半〜2時間かかりました。同じ模様の転写紙を使っても、その人のセンスで雰囲気異なる作品が出来上がりました。出来上がったあとで、三浦さん差し入れのお菓子とコーヒーでおしゃべりを楽しみました。



できあがり♪  
それぞれステキですね

## ブックレット作成中

「福山建築物耐震診断等評価委員会」は現在「福山と地震」についてのブックレットを3月中の完成を目指して奮闘中です。一般財団法人「義倉」からの助成金もいただいています。

このブックレットは<sup>2014</sup>2014年6月の南前委員長の講演と、<sup>2014</sup>2014年9月の「建築物耐震補強工法説明会」での藤井委員さんの講演をベースにしたものです。福山地方は比較的地震被害の少ない地方と考えられてきました。しかし、いつ来てもおかしくないと言われる南海トラフ巨大地震でどんな被害が予測されるのか、私たちはそれに対する備えとどう対処したらよいかを考えておく一助になればと考えています。

なお、「福山建築物耐震診断等評価委員会」の設立にご尽力いただき、委員長としてご苦労頂いた南宏一先生が昨年4月に亡くなられました。このブックレットは先生のお仕事に感謝する気持ちも込めて作成しています。

## 地域の絆10周年を迎える

2月20日(土)、NPO法人地域の絆は10周年を迎え、加納が出席してきました。2006年2月20日にスタートした地域の絆は、現在は地域福祉センターやコミュニティホーム、サービス付高齢者施設など14施設。会場には「祝賀会」と書いてありましたが、「本当は「地域の人」「職員さん」など地域の絆を支えてくれた人への「感謝会」にしたかった」という中島代表の挨拶が印象的でした。その事を裏付けるように来賓席には地域センターのある町内会長さんなど、また、職員さんも子どもを含めた家族で参加されていました。

パワーポイントで各施設の取組みの特徴なども流され、最後に各施設の取組みの中から一つ、職員さんから募集した今年の標語の中から一つに表彰状と金一封が渡されました。表彰された取組みとは、市内でやっていた小料理店を6年前に閉店した利用者さんが、「店に立ちたい」と職員さんに話されたそうです。そこで職員さんたちはボランティアの協力でお店をきれいに片付け、一日限定の開店。料理のサービスをされ、とても喜ばれたそうです。

子どもたちも走り回り、中座する人もなく、心温まる素敵な会でした。

## 編集後記



穏やかな冬から一転、インフルエンザが猛威を振るっていますが、皆様お変わりありませんか？我が家は皆元気だったのですが、幼稚園も小学校も学級閉鎖になり発表会等も延期。元気で病気でもお母さんたちにとってはストレスの多い2月でした。

急に寒くなったり暖かくなったり、気温の変化が大きいと体がついていきませんね。もうちょっと、寒い日が続くでしょうから、皆様ご用心くださいませ。少しずつ季節は動いているようですが、春が待ち遠しいですね。(原)

